JOY BUOLAMWINI

- **Social Impact Technologist who leads the Algorithmic Justice League, speaker and algorithmic bias expert based at MIT**

Topics

- Environment
- Future
- Society
- Technology
- Women

Joy Buolamwiniは、人工知能の社会的影響を明らかにするために芸術や研究を利用するコードの詩人です。彼女は、より倫理的で包括的な技術で世界を創造するために、アルゴリズム正義連盟を設立しました。アルゴリズムバイアスに関する彼女のTED特集トークは、100万を超える見解を持っています。彼女のMIT論文の方法論は、マイクロソフト、IBM、そしてアマゾンのような会社からのAIサービスにおける大きな人種的およびジェンダーバイアスを発見した。彼女の研究は40カ国以上でカバーされており、有名な国際的講演者として、彼女は世界経済フォーラムと国連でのアルゴリズム正義の必要性を支持してきました。

彼女は、欧州委員会副総裁が招集したグローバル技術委員会で、世界のリーダーや技術幹部にAIの害を軽減する方法について助言するために務めています。顔面誓約、顔分析と認識技術の致命的な適用を禁止するその種の最初の合意。

創造的な科学コミュニケーターとして、彼女はTIME MagazineやNew York Timesのような出版物のための人工知能の影響についてのop-edsを書いています。ディアスポラの娘を夢見させ、特権の息子を休ませる物語を語るための彼女の探求の中で、彼女の話されている言葉の視覚的な監査は「女性ではないか？」。これはOprah Winfrey、Michelle Obama、Serena Williamsのような象徴的な女性たちの顔の上でのAIの失敗と、Coded Gaze shortがボストン美術館、英国のバービカンセンターに至るまでの展示の一部であることを示しています。

Rhodes ScholarとFulbrightのフェローであるJoy Buolamwiniは、Bloomberg 50、35歳以下のTech Review 35歳、100歳以下のBBC 100歳の女性、50歳以下の30歳のForbesトップ30などの注目すべきリストに選ばれました。「AI革命の良心」彼女はオックスフォード大学とMITから2つの修士号を取得しています。ジョージア工科大学でコンピュータサイエンスの学士号を取得しています。元ポールヴォールター、彼女はまだ感傷的なオリンピックの願望を持っています。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988